

## 公立大学法人大阪府立大学 過去の評価結果

	評価すべき点	評価にあたっての意見、指摘等										
<p>全体評価</p> <p>全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおりに進捗している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4学域体制への改編という大きな変革を成し遂げつつ、人材育成のさらなる強化に取り組んでいる。</li> <li>○ 地域貢献の取組みの中で、社会に貢献する優秀な人材を育成・輩出していることは評価できる。</li> <li>○ <u>国家試験合格率について高い水準を維持するとともに、人材育成プログラムを充実させるなど、社会に貢献する優秀な人材の育成に取り組んだことが高く評価できる。</u></li> <li>○ <u>大学・工業高等専門学校ともに、公開講座や出前授業について年度計画を上回る件数で実施しており、その内容も高度で充実したものであると認められる。さらに、地元企業・地元自治体との協働により、地域の教育拠点としての役割を果たすなど、地域貢献を推進したことについて評価する。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グローバルに活躍できる人材が求められている現代において、大学の人材育成機関としての責任は大きく、かつ、大阪府立大学にはその責任を果たす力があると確信している。今後一層大学の国際化に向けた取組みを前進させることが求められる。</li> <li>○ 産業界など社会の要請に応えるポストドクターや博士後期課程学生の人材育成について、今後とも充実・強化していくことが求められる。</li> <li>○ 学域再編による教育カリキュラムを確実に運営し、大学の教育・研究の推進に支障のないように配慮することも必要である。</li> <li>○ グローバルに活躍する人材の育成には、異文化交流による国際感覚の醸成といった視点を持って、取組みを強化されたい。</li> <li>○ <u>大学教員数の削減については、教育・研究活動への影響に配慮したことから H27 年度の数値目標を達成していないものの、経営努力により支出削減が実現できており、全体として財務内容の改善が認められる。</u></li> <li>○ <u>教育研究環境の保全はもとより、地域防災の推進に貢献するため、大規模災害や事故の発生時に備え、現実を見据えた危機管理体制の充実に、継続して取り組まされたい。</u></li> </ul>										
<p>大学の教育研究等の質の向上</p> <p>「計画どおり」進捗していることを確認</p> <p>「地域貢献」及び「国際化」の項目は A 評価に該当</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成 24 年 4 月から、従来の学部・学科からより幅の広い学域・学類体制への転換を図るため、7学部28学科を4学域13学類へと改編する準備を推進し、短期間で大きな改革を実現した。</li> <li>○ 4学域13学類体制導入のもと能動的な学習姿勢への転換を促すため、学域混合の初年次ゼミナールを本格的に開講。受講生の評価も良好であり、教育改革の取組の一つとして順調に進捗している。</li> <li>○ 民間企業等との共同研究・受託研究を多く行っていることは評価でき、引き続き積極的な取組が望まれる。</li> <li>○ 自治体や企業等諸機関との連携を図りながら、地域に貢献する事業の推進や人材育成についての取組みがなされている。</li> <li>○ <u>国際化について、外国人招へい教員事業の実施や国際交流会館の開設など、海外からの教員、学生の受入れ態勢の充実に取り組んでいることに加え、「大阪府立大学グローバル化戦略」を策定するなど、さらなるグローバル化を進めていることは評価できる。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ URAセンターの設置に関しては、設置の趣旨が十分に果たされるようその活性化に努めるとともに、活動内容についての情報発信を強化されたい。</li> <li>○ 社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材の育成についての取組みは、まさに大学の重要な役割であり、大学院教育の改革にも取組み、より一層の充実に努められたい。</li> <li>○ 「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」で採択された取組みにおいて実施した調査結果を活用し、産業界が求める人材を育成するためのカリキュラムの開発など、これからの教育改善・質の向上に資する取組みにつながることを期待したい。</li> <li>○ 大阪府教育センター附属高等学校からの学域への特別入試制度の検討については、同校からの入学実績を考慮し、慎重に対処しつつも、学校協議会への委員派遣や教育支援などの連携をさらに強化することが求められる。</li> <li>○ 国際交流推進体制の充実に向け、全体像を明確にしつつ、さらなる取組みの強化が求められる。</li> <li>○ <u>国家試験合格率について、高い目標値の達成が維持されていることは評価できる。</u></li> <li>○ <u>海外からの教員・研究者、学生の受入れ態勢が充実していることについては評価できる。今後は、「大阪府立大学グローバル化戦略」を推進し、学生の海外派遣等の充実に注力されたい。</u></li> </ul>										
<p>業務運営の改善及び効率化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>A：計画どおり B：おおむね計画どおり</p>	H23	H24	H25	H26	H27	B	B	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育施設を開設するなど女性研究者のキャリア形成支援を先進的に行なっている。</li> <li>○ 若手・外国人研究者など多様な優れた人材の確保策や女性研究者のキャリア形成を継続するための支援を行っている。事業の継続的実施が可能となるような制度設計に留意しながら、環境整備のさらなる充実を期待したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 急速な法人独自職員化への切り替え状況を踏まえ、研修の義務化を図り、体系的な人材育成が図られるよう、より一層の、職員の資質向上・能力開発に取り組まされたい。</li> <li>○ 教員業績評価制度については、各々の専門分野の状況を踏まえた制度の導入がなされているところであるが、教育・研究活動の充実につながるよう、中長期的な視点からも、より適正な制度の検討及び実施に期待する。</li> <li>○ 効率的な組織運営を図るための教職協働組織の整備や各種監査、検査体制強化など、組織改革やコンプライアンス・リスクマネジメント強化に対する取組みがなされているところであるが、今後も継続した取組みを期待する。</li> <li>○ <u>優れた人材を確保するためには、女性研究者の支援は重要であり、今後一層必要性が高まると考えられることから、継続的に取り組まされたい。</u></li> <li>○ <u>若手教員の採用・育成に注力し、教員の年齢分布への配慮や適正配置の維持を図るなど、組織の活性化に取り組まれることを期待する。</u></li> </ul>
H23	H24	H25	H26	H27								
B	B	A	A	A								
<p>財務内容の改善</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている</p>	H23	H24	H25	H26	H27	A	A	C	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医学部を擁しない大学でありながら、科学研究費について、医学部をもつ同規模大学と遜色がない獲得実績をあげている。</li> <li>○ 自律的な運営の確立に向けて、様々な方法により自己収入の増加に努力している。</li> <li>○ <u>教員削減については、教育・研究活動への影響に配慮したことから年度計画を予定どおり、実施できなかったものの、様々な業務改善を進める等、経営努力により支出削減が実現できており、全体として成果が認められる。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教員数の縮減は、大学の教育・研究水準や競争力の低下につながるおそれもある。共同・受託研究による資金など、外部資金の獲得を行っていくうえでも、研究水準の低下を生じさせないよう、慎重に対応されたい。なお、学域再編による教育カリキュラムを確実に運営し、大学の教育・研究の推進に支障のないように配慮することも必要である。</li> <li>○ 基金の効率的な活用等に加えて、大学の有する研究シーズや技術支援等のノウハウを活かしつつ、収益性向上のマインドをもって各種事業の推進にあたるなど、財務基盤の充実に努められたい。</li> </ul>
H23	H24	H25	H26	H27								
A	A	C	B	A								

<p>自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供</p> <table border="1" data-bbox="192 262 623 336"> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>A：計画どおり</p>	H23	H24	H25	H26	H27	A	A	A	A	A	<p>○ 「データで見る公立大学法人大阪府立大学」という定量的な現状把握や効果検証が可能となる資料を充実させ、府民向けにわかりやすい情報公開を進めている。</p> <p>○ 「データで見る公立大学法人大阪府立大学」の内容は、充実してきており、今後も幅広く、各方面において活用されることを期待する。</p> <p>○ <u>記者懇談会を開始するなど、認知度向上とブランド力の強化に取り組んだ。</u></p>	<p>○ 施設及び設備の共有や有効活用など、工夫して経費の抑制に努められたい。</p> <p>○ <u>財政基盤の強化のため、引き続き、自主財源の確保に努められたい。</u></p> <p>○ 英語版のホームページについて、海外からの留学希望者のニーズに合った情報を掲載し、充実させることが国際化推進の観点からも今後の課題である。</p> <p>○ 受験生やその保護者へ、より具体的で明確な大阪府立大学のアイデンティティが伝わるよう、ホームページをはじめとした情報発信について更なる工夫が求められる。</p> <p>○ 「データ棚卸しWG」については、データ集（「データで見る公立大学法人大阪府立大学」）を活用し、全学を俯瞰しつつ、法人の将来像を見据えた検討をすすめられたい。</p> <p>○ 国際的な大学ランキングにおける評価の向上を図るための方策の検討や取り組み強化に期待する。</p> <p>○ <u>市大との統合については、府民の関心も高いことから、これに関する情報を種々の機会を利用して、積極的に発信されるよう期待する。</u></p>
H23	H24	H25	H26	H27								
A	A	A	A	A								
<p>その他の業務運営</p> <table border="1" data-bbox="192 567 623 640"> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>A：計画どおり</p>	H23	H24	H25	H26	H27	A	A	A	A	A	<p>○ <u>教職員向けの研修については、実効性のある取り組みであると認められる。</u></p>	<p>○ 教職員及び学生に対する「メンタルヘルスケア」や「ハラスメント防止」に関する啓発に加え、より効果的な予防措置の検討及び実施に期待する。</p> <p>○ <u>大規模災害や事故の発生時に備え、現実を見据えた危機管理体制の充実に継続して取り組まれたい。</u></p>
H23	H24	H25	H26	H27								
A	A	A	A	A								